

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	重度化にともない、ADLの低下が原因で生活の幅が狭くなるが、地域との接点を持つことで、違う支援方法を考え、継続出来るような工夫をする。	ADLが低下しても地域との関わりが持てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在関係のある幼稚園と連絡をとり一緒に出来る事がないかを検討する。 ・ADLの低下してきた利用者もマンツーマンでの外出を行う等、少人数での関わりを持つ事で地域に出かける機会を作る。 	12ヶ月
2	35	避難訓練のお知らせだけでなく、地域住民にも直接声かけを行い、参加、見学してもらえるような働きかけを工夫する。	地域住民に避難訓練の見学や参加をしてもらえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長や連合会長に協力して頂き良い方法を模索する。 ・地域の回覧板で回す事で興味を持って頂く。 ・法人内で受け入れの仕方を統一する。 	12ヶ月
3	36	ケアに関わる基本マニュアルを作成し、職員が利用者に対し尊厳を持ちながら、基本的な基準において統一された業務を遂行出来るように工夫する。	ケアに関わる基本マニュアルを作成し基準を明確化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマニュアルを作成する為、会議やカンファレンスを開催し情報をまとめる。 ・まとめ上がった情報を会議等で周知する。 ・会議やカンファレンスで新たな課題が出た時にはマニュアルの更新を行う。 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。